

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 30 年 5 月 30 日

計画の名称	社会資本総合整備計画(地域住宅計画「岸和田市地域」)							
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)	交付対象	岸和田市					
計画の目標	『住宅確保要配慮者の生活の安定及び向上を図るため、マスタープランを作成し市営住宅を整備するとともに、ストックを良好な社会資源として有効に活用していく』							
計画の成果目標 (定量的指標)	市営住宅(RC造)のうち、バリアフリー化された住宅の割合 市営住宅(RC造)のうち、風呂釜が設置された住宅の割合							
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考	
				当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)		
①	市営住宅(RC造)のうち、バリアフリー化された住宅の割合=(バリアフリー化された住宅(RC造)戸数/(全住宅(RC造)戸数) %			33%	—	42%		
②	市営住宅(RC造)のうち、風呂釜が設置された住宅の割合=(風呂釜が設置された住宅(RC)戸数)/(全住宅(RC)戸数) %			32%	—	44%		
全体事業費	合計 (A+B+C)	1080百万円	A	1021百万円	B	—	C	59百万円
							効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	5.4%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
岸和田市において評価を実施。	平成30年5月
	公表の方法
	岸和田市ホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			
A1-1	住宅	一般	岸和田市	直接	岸和田市	公営住宅等整備事業	(仮称)尾生住宅68戸 上松住宅65戸	岸和田市						1,017		
A1-2	住宅	一般	岸和田市	直接	岸和田市	公営住宅等ストック総合改善事業	居住性向上型(八木住宅)	岸和田市						4		
合計													1,021			
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			
合計													0			
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
C-1	住宅	一般	岸和田市	直接	岸和田市		公営住宅等整備関連	市営住宅の整備及び管理関係	岸和田市					59		
合計													59			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C-1	耐震性に問題のある住宅から建替え住宅に住替えることにより、入居者の安全の確保を図るとともに、収入が著しく低額な居住者に対して必要な住環境を提供し居住の安定を図るなど。															
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当なし)																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			
合計													0			

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）尾生第2住宅の集約建替の結果、既存不適合で老朽化した鉄筋住宅と耐用年数を過ぎた木造住宅の入居者に、安全で設備の整った住宅を供給できた。 ・耐震性の無い鉄筋住宅と耐用年数を過ぎた木造住宅の集約建替を計画することにより、入居者の安全性を図った。 ・風呂釜の無かった八木母子住宅に風呂釜を設置することにより、入居希望者が増加傾向にある。 			
II 定量的指標の達成状況	指標① （市営住宅（RC造）のうち、バリアフリー化された住宅の割合）	最終目標値	42%	目標値と実績値に差が出た要因	財政面の調整により既存住宅の改修が進まなかったため。
		最終実績値	41%		
	指標② 市営住宅（RC造）のうち、風呂釜が設置された住宅の割合）	最終目標値	44%	目標値と実績値に差が出た要因	想定以上に事業が進んだため。
		最終実績値	61%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、計画に基づき事業を実施することでストックを良好な社会資源として有効に活用していく。 					

(参考様式3)

計画の名称	社会資本総合整備計画(地域住宅計画「岸和田市地域」)		
計画の期間	(5年間) 平成25年度～平成29年度	交付対象	岸和田市

The map displays a network of roads and project locations. Three callout boxes are connected to specific points on the map:

- A1-2**
公営住宅等ストック総合改善事業
(八木住宅)居住性向上型
- A1-1**
公営住宅等整備事業
((仮称)尾生第2住宅)68戸
- A1-1**
公営住宅等整備事業
(上松住宅)65戸

A legend box in the bottom right corner indicates:

- C-1**
公営住宅等整備関連